

## はじめに

本市は、平成16年10月に市町村合併し、早くも10年が経過しましたが、この間、九州新幹線鹿児島ルート<sup>1</sup>の全線開業や南九州西回り自動車道川内隈之城道路<sup>2</sup>の開通をはじめ、川内港と甕島を結ぶ高速船「甕島」<sup>3</sup>の就航など、交通インフラ等の都市環境が整備され、医療・福祉、教育・文化、産業、行政などの機能集積により、本市の核となる拠点の形成に努めるなど、北薩地域の中核都市としての役割を果たしています。



現在、早期完成が望まれる南九州西回り自動車道、川内川川内市街部改修、重要港湾川内港の整備、藺牟田瀬戸架橋などの大型プロジェクトが展開される一方、加速する少子・高齢化による集落機能の低下、東日本大震災を契機とした防災意識の高まりやエネルギー政策を取り巻く環境の変化が重要視され、従来の都市づくりのあり方から構造的な大転換を迫られるなど、都市づくりを取り巻く環境も大きく変化しており、それらに対応したきめ細かな都市づくりが求められています。

このような状況を踏まえ、今後も持続可能でコンパクトな都市づくりを計画的に進めるため、秩序ある市街地形成に向けた土地利用の誘導や規制、都市施設の整備促進、自然環境の保全などの都市計画施策を体系的にまとめた「薩摩川内市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本マスタープランは、おおむね20年後の本市が目指すべき都市づくりの方向性を定めるものとして、基本理念を「水・自然・歴史・文化と親しみ、暮らしきらめく快適交流拠点都市・薩摩川内」とし、全体構想として定めた基本的な方針に基づいて、地域の現況や課題に対応した各地域における都市づくりの目標像及び方針を掲げています。これらを実現するためには、まちづくりの主役である市民の皆様方と互いに協力しながら取り組み、都市の均衡ある発展を図ってまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本マスタープランの策定にあたり、市民の皆様のご意向を積極的に計画へ反映するため、住民アンケート調査やパブリックコメントを実施するとともに、地域住民ワークショップでは本市が抱える都市計画上の課題等に対する貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様並びに関係機関各位をはじめ、ご助言・ご指導賜りました策定委員の皆様方に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

薩摩川内市長 岩切 秀雄